

文化経済学会<日本> 2023年度研究大会 分科会プログラム

分科会1 7月9日(日)9:30-10:40 *1-Cのみ10:05-10:40

1-A スポーツとレガシー

座長 中嶋 大輔(京都外国語大学)

| | |
|-------|---------------------|
| 論題 | スポーツSDGsの進展に向けての一考察 |
| 発表者 | 有吉 忠一(同志社大学) |
| 共同発表者 | 横山 勝彦(同志社大学) |
| 討論者 | 町田 樹(國學院大學) |

| | |
|-------|---|
| 論題 | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるソフト・レガシーの構築とその浸透の実際 |
| 発表者 | 伊吹 勇亮(京都産業大学) |
| 共同発表者 | 横山 勝彦(同志社大学) |
| 討論者 | 町田 樹(國學院大學) |

1-B アートとボランティア

座長 直田 春夫(NPO政策研究所)

| | |
|-----|---|
| 論題 | 芸術祭・アートプロジェクトを支えるボランティア/サポーターは無垢な参加者なのか～1990年代から台頭する市民ボランティア社会の中で可能性を位置づける～ |
| 発表者 | 藤原 旅人(九州大学) |
| 討論者 | 直田 春夫(NPO政策研究所) |

| | |
|-----|--------------------------------|
| 論題 | 文化系ボランティア団体の比較考察:札幌市内の団体を事例として |
| 発表者 | 三宅 美緒(北海道大学大学院) |
| 討論者 | 吉田 隆之(大阪公立大学) |

1-C 地域と芸術活動

座長 高橋 かおり(立教大学)

| | |
|-----|--------------------------|
| 論題 | 宝塚歌劇団での現役活動期間についての分析 |
| 発表者 | 坂部 裕美子((公財)統計情報研究開発センター) |
| 討論者 | 林 睦(滋賀大学) |

分科会2 7月9日(日)10:45-12:30

2-A 会員企画セッション I

テーマ 文化GDPの推計と活用について

| | |
|---------|---|
| 企画趣旨・内容 | <p>欧米では文化芸術関連産業が成長産業の1つとみなされるようになり、日本でも「未来投資戦略2017」において、文化芸術による付加価値を拡大する方針が示された。また2017年には「文化芸術基本法」が成立するとともに「文化経済戦略」が策定された。これらの動きに関しては、文化芸術の本源的価値との整合性という観点からの議論が必要であるという意見があるものの、日本においても文化の経済的評価が必要であるという議論の契機となり、文化庁内に「文化GDPの推計のための調査研究会議」が設置された。</p> <p>本報告では、まず、文化GDP推計の目的と文化庁の本事業への取組みの推移等を紹介し、文化サテライト勘定(CSA)の先行諸国の事例の紹介や日本との比較も行う。UNESCOガイドラインによる文化GDP推計は上記の「会議」により2017年度に開始され、これまで2015～2020年の6年を対象とした推計が行われている。次に、その間の文化GDPの推移を紹介する。ただし、UNESCOのガイドラインに関しては、文化の定義が国により異なることもあり、かなり柔軟な設えになっている。そこで、日本では文化としてとらえられている茶道、華道、書道、あるいは和食や日本酒のような生活文化も含んだ文化のGDPの推定を試み、手法に関する妥当性と意義について議論する。最後に、こうした日本独自の文化基準を盛り込んだ文化GDPの試算を紹介する。</p> <p>本セッションでは文化GDPの推計法を改善する方法と推計対象範囲の拡大(文化雇用者や文化商品の輸出入等)とともに、文化GDPの活用方法についても議論したい。</p> |
| 登壇者 | <p>八木 匡(同志社大学) 藤川 清史(愛知学院大学) 矢根 遥佳(立命館大学) 河合 満朗(CDI研究部)</p> |

2-B 関係性としてのアート

座長 小泉 元宏(立教大学)

| | |
|-----|--------------------|
| 論題 | オルタナティブスペースと趣味縁の空間 |
| 発表者 | 加藤 康子(北海道大学大学院) |
| 討論者 | 関 鎮京(北海道教育大学) |

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 論題 | 伝統工芸品を展示するホスピタルアートの事例における新しい価値づけの評価軸 |
| 発表者 | 荒木 由希(金沢大学大学院) |
| 討論者 | 横川 善正(公立小松大学) |

| | |
|-----|-------------------------------|
| 論題 | メソッド開発のための分析 — 研修における対話型鑑賞の応用 |
| 発表者 | 谷口 彩(SAI Co-Cre Labo) |
| 討論者 | 長津 結一郎(九州大学) |

2-C デジタル&クリエイティブ産業の未来

座長 綿江 彰禪(芸術と創造)

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 論題 | デジタルミュージックの国際貿易: データセットの作成と検証、および実証分析 |
| 発表者 | 高良 佑樹(千葉経済大学) |
| 討論者 | 勝浦 正樹(名城大学) |

| | |
|-----|---|
| 論題 | デジタルコンテンツ産業クラスター形成と発展形態～日本と海外成長都市との比較から |
| 発表者 | 岡田 智博(東京藝術大学) |
| 討論者 | 半澤 誠司(明治学院大学) |

| | |
|-----|--|
| 論題 | 映画をツールとした地域文化振興の可能性-石垣島ゆがふ国際映画祭を事例として- |
| 発表者 | 松本 文子(大阪大学/国立民族学博物館) |
| 討論者 | 岡田 智博(東京藝術大学) |

2-D 文化政策再考

座長 菅野 幸子 (AIR Lab)

| | |
|------------|--|
| 論題 | 大熊信行の「芸術経済学」について —日本の「文化経済学」の一つの原点と、その今日的意義— |
| 発表者 | 伊藤 裕夫 |
| 討論者 | 藤原 旅人 (九州大学) |

| | |
|------------|------------------------|
| 論題 | 文化政策の半世紀～自治体文化政策の変容と課題 |
| 発表者 | 野田 邦弘 (横浜市立大学客員教授) |
| 討論者 | 熊田 知晃 (明治大学) |

| | |
|------------|------------------------------------|
| 論題 | 芸術団体の法制度の課題と芸術支援: コロナ禍でより明らかになったこと |
| 発表者 | 田中 敬文 (東京学芸大学) |
| 討論者 | 大和 滋 (日本芸能実演家団体協議会参与) |

分科会3 7月9日(日)14:25-16:10

3-A 会員企画セッションII

| | |
|----------------|---|
| テーマ | 「文化統計の体系化に関する調査・研究」—文化統計の体系化およびマイクロデータ分析に向けて— |
| 企画趣旨・内容 | <p>本セッションの目的は、「令和4・5年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業『文化統計の体系化に関する調査・研究』」の成果及び現況を報告し、文化に関する世論調査を含むわが国の文化統計を充実させるための方向性を考える場を提供することである。以下の4報告を行った後に、2名の討論者(同志社大学・八木匡氏、(公財)統計情報研究開発センター・坂部由美子氏)から本事業の研究内容に関してコメントを頂き、わが国の文化統計の現状と今後について議論する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有馬昌宏(兵庫県立大学)・荒木孝治(関西大学)・橋本紀子(関西大学)「文化的活動の活動相互間の関係と活動参加の有無に影響する要因の分析」 2. 高良佑樹(千葉経済大学)「文化に関する世論調査の詳細分析 —順序プロビットモデルによる参加頻度の分析—」 3. 勝浦正樹(名城大学)「社会生活基本調査の個票情報による文化的活動への参加状況の推計」 4. 西郷浩(早稲田大学)・勝浦正樹(名城大学)「日本の文化統計の体系化 —諸外国・国際機関の状況からみた今後の方向—」 |
| 発表者 | 有馬昌宏(兵庫県立大学) 高良佑樹(千葉経済大学) 勝浦正樹(名城大学) 西郷浩(早稲田大学) |

3-B 文化的景観の価値

座長 清水 麻帆 (文教大学)

| | |
|------------|--------------------------|
| 論題 | 花街文化の価値—スロスビーの文化価値論を参考に— |
| 発表者 | 中原 逸郎 (楓錦会) |
| 討論者 | 清水 麻帆 (文教大学) |

| | |
|------------|---|
| 論題 | 文化的景観の持続可能な保護と活用に関する再定義の検討～国選定重要文化的景観「小鹿田焼の里」誤指導問題を通して～ |
| 発表者 | 藤原 恵洋 (九州大学名誉教授) |
| 討論者 | 田代 洋久 (北九州市立大学) |

| | |
|------------|---|
| 論題 | 伝統的町並みの保存が観光地の評価に与える影響:「酒蔵ツーリズム」を実施する観光地の口コミの解析 |
| 発表者 | 谷口 みゆき(佐賀大学) |
| 討論者 | 竹谷 多賀子(金沢星稜大学) |

3-C 文化としての食

座長 三浦 宏樹(大分県芸術文化スポーツ振興財団)

| | |
|------------|--------------------------|
| 論題 | 地域ブランドとしての「京野菜」の価格に関する研究 |
| 発表者 | 長坂 高男(名古屋大学大学院) |
| 討論者 | 清 剛治(公立小松大学) |

| | |
|------------|---|
| 論題 | 北海道美唄市女性生産者グループ「おいで菜祭」による農産物アウトリーチとその効果 |
| 発表者 | 岩井 千華(美唄市教育委員会) |
| 討論者 | 滋野 浩毅(京都産業大学) |

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 論題 | テロワール産品を通じたスキーリゾートの活性化:フランスのサヴォワ地方を例に |
| 発表者 | 森崎 美穂子(帝京大学) |
| 討論者 | 長嶋 由紀子(東京大学) |